



## 6年生修了式

本日19日(水)をもって6年生は、6年間の学びを修める修了式を迎え、各学級代表の子供たちに、修了証を無事手渡すことができました。これは、6年生としての勉強や生活を無事修了しましたという証明書です。修了式では次のような話をしました。「昨日は、感謝の『手紙渡しの会』では、これまで担任をしてくださった



先生方に心を込めて渡していましたね。これまで受け持ってくださいました先生方への感謝は忘れないでください。私は皆さんが3年生のときに帯西に来ました。元気な皆さんの姿が記憶に残っています。そして、6年生として、ここまで成長し、学校のリーダーとして活躍してくれたことに心から感謝します。この『4つの心』ですが、まずは『自分を育てる心』を大切にしたいと思えます。この土台がしっかりしないと、自分に自信が持てずに、それに共感する人もいなくなり、『共に生きる心』がその上に乗っかってきません。さらに誰かがあなたと協力して行動しようと思わず、『社会をつくる心』も小さなものとなっていってしょう。さらに『命を感じる心』もほんの僅かなものとなり、あなたが感じる『わくわく』も小さなものとしかならないでしょう。ただ、自分への自信しかない人は、例え『自分を育てる心』が大きく見えても、そこに人は近づかず、『共に生きる心』も育ちません。ましてや『社会をつくる心』『命を感じる心』も小さなものとなるでしょう。卒業する皆さんは、是非この『4つの心』の中の『自分を育てる心』という土台をしっかりとさせて中学校へ進学して欲しいと思えます。特に、『しっかり考えて責任ある行動を』や『より高い目標に向かってやりぬく』『長所を伸ばして短所をあらためる』などを意識して行動して欲しいと思えます。6年生の皆さんだったら『真実を探し求める』ピースもとても大切ですね。そうして昨日の皆さんのように、『感謝し、こたえる』ピースを発揮させると、『共に生きる心』も大きく育ちます。そして、最後の『命を感じる心』も大きくなり、たくさんの『わくわく』するような感動体験も生まれてくることでしょう。これからも『4つの心』は、中学校でも道徳の時間を中心に学んでいくので、『4つの心』を思い出して、これからも成長に繋げて欲しいと思えます。

※原稿なしの話だったため、少し違っているかもしれません(^^;

## 感謝の「手紙渡し会」

昨日18日(火)は、6年生が企画した、感謝の「手紙渡し会」が昼休みに体育館で行われました。帯西入学のときから担任してくれた先生で、まだ帯西にいる先生方を招いて、それぞれの先生方に、感謝の気持ちを込めた手紙を渡していました。感動して泣きだしてしまう先生や子供たちもいて、見ている私も目頭が熱くなりました。先生たちからは、担任していたときのエピソード話などもあり、心温まる会となりました。

素敵な6年生の皆さんは、帯西グリーンの『感謝し、こたえる』という心のピースを発揮していました。

